

## 第6章 国際ワークショップ

総研大 研究プロジェクト「戦争と平和」  
ワークショップ I-V

CARE International Japan  
黒川千万喜

(1) ワークショップの編成

研究プロジェクト「戦争と平和」における「研究の目的」と「プロジェクト・グループ」は別表1および2の通りである。ワークショップは、各グループからの成果報告の場として組織されたが、同時に毎回重点テーマを定めることで各回のワークショップに出来る限りテーマに沿った一貫性と多面的議論を確保することに努めた。そこでは当初の研究目的や課題を踏まえつつ、更に関連の深い問題領域にも踏み込んだ取り組みを展開している。

各ワークショップのメインテーマ

第1回 (2005年3月)

「戦争と平和」

第2回 (2006年3月)

“Cultures and Conflicts: Studying Differences and Misunderstanding”

第3回 (2007年2月)

“Cultures, Conflicts and Peace-building”

第4回 (2008年3月)

“Human Security, National and International Security”

第5回 (2008年12月)

“In search for a Nuclear Free World”

(2) 発表論文の分野別まとめ

上のような経緯を踏まえ、ワークショップにおける報告を振り返って整理してみると別表3のようになる。勿論それぞれの論文は多角的な問題意識で書かれているのでこの分類には必ずしも入りきらないものが殆どであるが、強いてまとめてみればこういう括り方が成り立つという程度に過ぎないが。

### 別表－1 研究の目的

人類がこのさき滅亡することなく生存しつづけられるか、という問に対する答は自明ではない。それどころか、生存可能かどうかあらゆる観点から検討を迫られている問題である。理想的な自由、また理想的な民主主義とはいったいどんなものなのであろうか？個人に対する国民国家の優位性は克服できるのだろうか？個人に創造的な活動の機会を平等に与えることは、どうすれば保障できるのだろうか？大量破壊兵器が氾濫して手に負えなくなる前に放棄できるのだろうか？われわれの研究の目標は、これらの疑問に対して関連するありとあらゆる事柄を可能な限り調べ上げて答えを見出そうとするものである。

### 別表－2 プロジェクトグループ

- (1) 人間についての生物学的研究
- (2) 人類の間での紛争の人類学的、民俗学的な研究
- (3) 歴史における戦争と平和
- (4) 紛争の分析
  - (a) ヨーロッパ地域での紛争
  - (b) アフリカ地域での紛争
  - (c) 中東地域での紛争
  - (d) アジア・太平洋地域での紛争
  - (e) アメリカ地域での紛争
- (5) 国民国家の戦略的政策(防衛、外交、経済に関する)
  - (a) ヨーロッパ地域での国家戦略
  - (b) アフリカ地域での国家戦略
  - (c) 中東地域での国家戦略
  - (d) アジア・太平洋地域での国家戦略
  - (e) アメリカ地域での国家戦略
- (6) 武器  
生物兵器、化学兵器、核についてのすべての技術面からの研究
- (7) 軍縮および核廃絶の可能性  
法的、技術的および政治的な側面からの研究
- (8) 現在の国際関係のありようについて、ヨーロッパ、アフリカ、中東、アジア・太平洋およびアメリカの各地域での一般大衆の立場ならびに国家の立場からの研究』

### 別表－3 論文の分野別グルーピング

(例 ①－1 は第1回の lecture 1 を示す。また K は基調講演を示す)

(1) 人間についての生物学的研究（遺伝子、攻撃本能、未開社会での闘争）

- ①-1 菅原 ①-2 池村 ①-3 長谷川 ①-4 村山 ①-5 太田  
①-6 池村  
②-1 1 長谷川 ②-1 2 池村

(2) 民族・文化・歴史と戦争・紛争

- ①-7 出口 ①-9 Traweek  
②-1 Uyagonda ②-2 Traweek ②-4 内堀  
③-K 入江 ③-1 Carolyn ③-2 菅瀬 ③-3 川喜田 ③-4 Horvat  
③-5 Brien ③-7 佐藤 ③-8 滝沢  
④-K 武者小路 ④-1 Stephenson ④-5 Khoury ④-6 菅瀬  
④-7 黒川(真)  
⑤-8 菅瀬

(3) 個人、国家、国際機関の関わり

開発協力、国際協力、平和構築  
国家（指導者）の犯罪、国際司法  
NGO

- ①-8 黒川(千)  
②-5 村山 ②-6 国井 ②-7 山田 ②-9 Ellsworth  
③-K 入江 ③-1 Stephenson ③-2 菅瀬 ③-4 Horvat  
③-6 Aanenson ③-7 佐藤 ③-8 滝沢  
④-K 武者小路 ④-1 Stephenson ④-2 高柴 ④-3 Wright  
④-4 竹内 ④-1 0 Titus  
⑤-黒川(真) ⑤-8 菅瀬

(4) 研究者の倫理・社会への責任

科学技術と戦争・紛争

- ①-1 0 常石 ①-1 1 田尾 ①-1 2 Perret-Gallix  
③-9 池内  
④-6 菅瀬 ④-7 黒川(真) ④-8 笹本  
⑤-5 高橋 ⑤-6 政池 ⑤-9 Traweek ⑤-1 0 松本

(5) 大量破壊兵器、核兵器廃絶、軍縮

- ①-1 0 常石

④－ 1 1 Leglu

⑤－ 1 菅原 ⑤－ 2 Hallett ⑤－ 3 森野 ⑤－ 4 吉田

(6) 原爆資料アーカイブズ

③－ 1 0 高橋

④－ 8 笹本 ④－ 9 安藤・前川

⑤－ 5 高橋

(7) プロジェクト全体

①－ 1 菅原 ①－ 1 3 湯浅